

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 14

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789</a>

44  
子村井向長ハ本財務次官補会談

カ  
ヒ

万博

大蔵省  
事務次長  
大臣官舎審議長  
録文会事務

総入電厚計  
参  
参領旅移

参北東經  
参中西經  
参北北保

参一  
参西東洋  
参一

近ア長  
参審近ア  
次総経国

参官統  
参政技二  
参一理

参係協  
参助科

参社專  
参連内外

文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

64.64

大蔵省 / 印

電信写

総番号(TA) 22835 主管  
 69年6月3日21時20分 米国 発着 米地  
 69年6月4日10時25分 本省

外務大臣殿 下田大使 臨時代理大使 総領事 代理  
 ムライ局長とペテイ次官補との会談

第1710号 略 至急

3日ムライ局長はナカジマとともにペテイ財務次官補と会談したが、その概要次のとおり(同席、当方、セガワ、ワタナベ、先方、ハーシュトリット次官補代理、ウイドマン部長)。

1. 先方よりの求めに応じ、欧州通貨問題の印象を述べたのに対し、先方は通貨問題は今や政治問題であることを認めつつも、特に英国の現状について、米側として大きな関心をいただいている旨表明した。
2. 先方より国際通貨制度につき、よりFLEXIBLEなレートのメリットをあげ、当方の見解を質したので、当方から現行制度が最も望ましいと思う旨強調しておいた。

3. 当方より、5日に予定されているアイチ大臣とケネヂイ財務長官との会談に触れた際、先方は具体的なことについてはまだ検討がすすんでいないが、オキナワに関する財政的側面についてのプリンシプルを申しあげることになる(往電第1519号参照)、現在そのプリンシプルとして、

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

例えば次の3つを考えていると述べた。

- (1) 既投資施設に対する補償問題
- (2) 施設権返かんに関する米側予算の負担移転の問題
- (3) オキナワ返か案が米国にとって国際収支上の負担と

ならないこと

英、仏、独に転電した。

(3)

外務省